



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30 ~ 13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
	電話	0235 047711

会長	嶺	岸	光	吉
幹事	佐	藤	徳	衛
会報委員長	川	村	繁	男
	小	池	正	治
	西	海		一
	佐	藤		昇

No., 1104 1981. 4. 21 (火) (曇) No., 42

ビジター紹介

齋藤 新作君	建築設計	一温海 R.C	
早坂 重雄君	生命保険	一酒田東 R.C	
菅原 年雄君	建設	野口 弥君	内装 } 鶴岡西 R.C
瀬尾 助三郎君	自動車教習所		
佐藤 孝二郎君	農業	一余目 R.C	

会長報告

嶺岸光吉君

- ◎ 4月20日は通信記念日にあたります。此の記念日にちなんで、交換学生のジェームス君が鶴岡郵便局の依頼で一日局員となり、市内5ヶ所に郵便配達をして国際理解と親善に役立ったと思います。
- ◎ 4月15日学校法人齋藤学園の東北電子ビジネス専門学校の祝賀会にクラブ会長としてご招待を受け出席致しました。
- ◎ 4月19日~25日雑誌週間になっております。今日はこの週間にちなんで雑誌委員長の三浦悌三君のスピーチをお願いしております。

TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう 奉仕のために

幹事報告

佐藤 衛 君

- ① 会報到着一能代、上山、山形、山形南、山形西、山形北の各R.C
 - ② 例会時間・場所変更のお知らせ
酒田 R.C 4月22日の例会は観桜会のため 5時30分 中町伊豆菊
酒田東 R.C 4月23日の例会は観桜会のため 6時 荘内銀行浜田支店
にそれぞれ変更になります。
 - ③ 第253地区小高 R.C 認証状云達式のお願いの手紙。
- ◎庄内空港一4月30日特別講演会がございます。
資料を会員の皆さんに郵送してあります。会場が産業会館となっておりますが市文化会館に訂正願います。風間慶三さんよりの伝言ですが、ご家族の方でも結構、なるべく多く参加していただきたいという事です。

委員会報告

◎台中港区R.C訪問旅行実行委員会

高岸 三雄 君

今日21日、結団式を6時から第一イン・鶴岡で行なう。登録料 5,000円

◆ 会員スピーチ

雑誌週間に当って

雑誌委員長 三浦 悌三 君

当委員会に来て居る資料に依りますと、私達の委員会の任務は、

- (A) あなたのクラブならびに会員が「ロータリアン」誌を最も有効に利用するよう援助すること。
- (B) 「ロータリアン」誌がクラブプログラムや企画に適切なアイディアの源泉であることを示唆すること。
- (C) 「ロータリアン」誌の内容を通じてあなたの地域社会にロータリー意識を起こさせるようにすること。

となっております。

何年か前に雑誌委員長を勤めたことがあります。その時“ロータリーの友”事務所に次のような質問をしてみました。

“ロータリーの公式機関誌は「ロータリアン」及び「レビスタロータリア」であるので、日本語訳のものは何故発行されていないのか”。

その返事として「ロータリアン」には著作権があり、その手続上難しいこと。全文を日本語訳とするには相当の経費がかかり現在のところ不可能とのことでした。

自由世界のロータリークラブ及び会員数の10%を占めて居る日本に、公式機関誌（日本語版）が発行されて居らず、その主たる理由が著作権と費用にあるとするならば“ロータリアン誌”を出来るだけ多くの人達に読んで頂くための雑誌週間の主旨に反するのではと考えて居ります。

R.Iは英語版の「THE ROTARIAN」とスペイン語版「REVI-STA ROTARIA」の公式機関誌を発行して居ます。

「THE ROTARIAN」は、1905年ロータリークラブがシカゴに誕生してから6年後の1911年創刊され、本年で70年になります。日本に於いては1920年、東京にクラブが出来て以来60年余りになりますが、公式機関誌も発行されて居ない状態です。

“ロータリーの友”の創刊は昭和28年1月で今年で29年目に入り、56年1月現在まで326号に達して居ります。

“ロータリーの友”は、友委員会と編集の二部門より成り、人員構成は委員長以下計16名、その他に地区委員として第250地区～第273地区まで各地区1名の32名、合計48名になって居ります。

編集は編集長以下計11名の構成となつて居り“友”発行のために関係して居ると推定される人数は実に59名の多きに達して居ります。

資料がありませんので“友”の正確な発行部数は判りませんが日本に於けるクラブ数及び会員数の資料から推定してざっと92,000冊としておきます。

1冊200円ですので年間にして220,800,000円の売り上げということになります。

1981年(昭56年)1月号について、その内容について調べてみました。1月号は表紙共114頁で広告部分を除くと86頁(75%)が記事と云うことになります。又86頁の内、横組み記事が62頁(72%)縦組みが24頁(28%)となつて居ますが、どうして二通りの組み方をする必要のあるのか、雑誌としてこのような形のものは、あまり見掛けなようです。特に縦書きを必要とするのは日本本来の俳句、川柳、短歌及び漢詩であり、これ等以外について縦組みの必要性は考えられず、奥付けも本の最後の頁に持って来られ、奥付けを見る場合にも大変便利になります。

THE ROTARIAN誌よりの転載記事の量について調べてみた結果は次の通りです。

(1981.01) 国際障害者年開幕目標は“完全参加と平等”4頁、ブラジルのビジネス2頁、5分間ロータリー情報2頁、(1980.04) 見る人さまざま動物生態2頁、(1980.11) 人工衛星による農業3頁、合計114頁中13頁。

従つて81年の記事は8頁(7%)、80年の記事は5頁(4.4%)合計13頁11.4%にすぎません。

1ヶ月1回この雑誌を手にとって先ず目につくのは写真と広告です。ロータリー本来の記事に対する写真は投稿規定に依ると“カラー写真をやめて白黒写真で”と云う規定がある反面、広告は全頁大のカラー写真が相当量を占めて居り、又その美しさと豪華さから印刷技術の大きな進歩を伺い知ることが出来ます。又記事に附随した白黒写真に貧弱さを感じるのは私だけでしょうか。1冊の本に占める広告は25頁(22%)で、その広告の中に100万、200万更には875万円という時計の広告があり“ロータリークラブは金と暇のある人達の集まりで高い広告料を出しても効果があるのだらう”と云う批判に対して何と返事をすべきか。

私の場合時間的余裕もないので例会及びその前後の時間を利用して興味のあるところを拾い読みする程度です。

最も目についたものは ①表紙の写真の美しさ ②カラー広告の色彩の良さ
と品物の値段 ③記事附随写真の味気なさ
と記事に年月日が明記されていないこと ④略字・英語のカナ書きの多いことです。

「ロータリアン誌」にしても「友」にしても記事の内容がロータリー精神を貫き、且つ高尚なものであったとしても読まれないとすればその価値は生じて来ないと思います。

興味ある記事、読んで面白い記事、実社会生活に役立つ記事をと望む訳ですが、要は如何にして読ませるかと言う事に集約されると思います。

ロータリーの専門誌であるので恐らく一般市民に読ませようとしてもロータリーの略語、カナ書き英語が多く理解に苦しむ方が多いと考えます。又世界平和とか世界理解と云う風に世界と云う言葉が多く使われて居ますが、その範囲は自由主義世界だけであって他の体制の国々には及んで居ないのが現状ではないかと思ひます。言葉の使い方一つにしてもロータリークラブの内容を知らない人が容易に誤解するような使い方は避けた方が良く考えます。

SMILE BOX

佐藤 昇 君一東北電子ビジネス専門学校的设计を担当し、今回竣工した。

◆ 米山奨学金

本日の募金額 15,010円

出席報告

本日の出席	会員数	72名	欠席者	張君、早坂(徳)君、板垣(広)君、金沢君、村井君、本山君、諸橋君、中野君、西海君、佐藤(友)君、高橋(正)君
	出席数	61名		
	出席率	84.72%		

前回の出席	前回出席率	84.72%	メイクアップ	飯白君一立川R.C 早坂(源)君、板垣(広)君一鶴岡西R.C
	修正出席数	64名		
	確定出席率	88.89%		